

Kurume College		Year	2022		Course Title	Communicating with Japanese
Course Information						
Course Code	7C02			Course Category	General / Elective	
Class Format	Lecture			Credits	Academic Credit: 2	
Department	物質工学専攻（生物応用化学コース）			Student Grade	Adv. 2nd	
Term	First Semester			Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	基本的には適宜必要な資料及びプリントを配布する。但し、多和田葉子『献灯使』（講談社文庫）、村田沙耶香『コンビニ人間』（文春文庫）は購入してもらう。					
Instructor	鴨川 都美					
Course Objectives						
1. 日本語によるコミュニケーションにおいて、他者と意見を交換することで、自分の考えを一層深めることができる。 2. 他者の意見に耳を傾け、他者の発信する内容に対して、その背景や意図を十分に理解した上で意見を述べることができる。 3. 授業のテキストとして取り上げる作品に対して、自分が持った解釈や感想を、他者の理解を促しながら豊かに表現することができる。						
Rubric						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	日本語によるコミュニケーションにおいて、他者と意見を交換することで、自分の考えを一層深めることができる。		日本語によるコミュニケーションにおいて、他者と意見を円滑に行うことができる。		日本語によるコミュニケーションにおいて、他者と意見を円滑に行うことができない。	
評価項目2	他者の意見に耳を傾け、他者の発信する内容に対して、その背景や意図を十分に理解した上で意見を述べるができる。		他者の意見に耳を傾け、他者の発信する内容に対して、自分なりの意見やアドバイスをすることができる。		他者の意見に耳を傾け、他者の発信する内容に対して、自分なりの意見やアドバイスをすることができない。	
評価項目3	自分が作品に対して持った解釈や感想を、豊かに表現することができる。		自分が作品に対して持った解釈や感想を、表現することができる。		自分が作品に対して持った解釈や感想を、表現することができない。	
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline	就職あるいは大学院へ進学した際に必要となる、日本語でのコミュニケーションスキルの向上を目標とする。自分自身の意見や価値観を、異なる背景を持つ他者にいかにして伝え、他者との共生を図る力を養う。それには技術的な問題だけでなく、相手を慮ることのできる柔軟な感性を培うことも必要である。本授業では、主なテキストとして社会問題を扱った文学作品を使用し、総合的なコミュニケーション能力を高める取り組みを行う。また、テキストを通じて、社会と自分、他者と自己ということを認識する場としても機能させる。					
Style	授業で取り上げる作品については、授業計画を参照すること。一作品につき、二週分の授業を行う。作品は前週までにプリントで配布するので、必ず授業には作品を読んで出席すること。一週目は、作品の読み方や成り立ちについて講義をした上で、自分の意見をショートレポートにまとめてもらう。二週目に、ショートレポートを参考にして、各々の意見をディスカッション形式もしくはスピーチによって発表する。					
Notice	作品は前週までにプリントで配布するので、必ず授業には作品を読んで出席すること。専門用語の意味等も理解しておくこと。 各回の授業への参加度（出席、ディスカッション・ショートレポート、提出物等）60%、期末レポート40%で評価する。 100点を満点とし、60点以上を合格点とする。 必要に応じて再試験相当の課題を出す。 ※作品によっては過激な表現や深刻な内容を有する場合があるということを了承の上、受講すること。 ※受講者の人数等によって、シラバスの授業計画を変更する場合がある。					
Characteristics of Class / Division in Learning						
☒ Active Learning		☐ Aided by ICT		☒ Applicable to Remote Class		☐ Instructor Professionally Experienced
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	ガイダンス	授業の進め方、取り組み方、レポートに取り掛かるタイミングについて理解を得ておく。		
		2nd	チョ・ナムジュ「ヒョンナムオッパへ」（小説）：ジェンダーの問題を考える	取り上げる作品を読み、作品の時代背景、作家の生まれ・育ち・作風の特徴などについて知識を得る。自分の意見をショートレポートをまとめる。		
		3rd	チョ・ナムジュ「ヒョンナムオッパへ」（小説）：ジェンダーの問題を考える	前週のショートレポートを参考に、他者と意見交換をする。また、題材となっている社会問題についても自分の意見をまとめて、他者と考えを述べ合う。		
		4th	村田沙耶香「コンビニ人間」（小説）：互いの抱える〈生きづらさ〉を理解する	取り上げる作品を読み、作品の時代背景、作家の生まれ・育ち・作風の特徴などについて知識を得る。自分の意見をショートレポートをまとめる。		
		5th	村田沙耶香「コンビニ人間」（小説）：互いの抱える〈生きづらさ〉を理解する	前週のショートレポートを参考に、他者と意見交換をする。また、題材となっている社会問題についても自分の意見をまとめて、他者と考えを述べ合う。		
		6th	多和田葉子「献灯使」（小説）：災禍をどう受け止めるのか	取り上げる作品を読み、作品の時代背景、作家の生まれ・育ち・作風の特徴などについて知識を得る。自分の意見をショートレポートをまとめる。		
		7th	多和田葉子「献灯使」（小説）：災禍をどう受け止めるのか	前週のショートレポートを参考に、他者と意見交換をする。また、題材となっている社会問題についても自分の意見をまとめて、他者と考えを述べ合う。		
		8th	谷賢一「福島三部作」（戯曲）：震災と演劇	取り上げる作品を読み、作品の時代背景、作家の生まれ・育ち・作風の特徴などについて知識を得る。自分の意見をショートレポートをまとめる。		

	2nd Quarter	9th	谷賢一「福島三部作」（戯曲）：震災と演劇	前週のショートレポートを参考に、他者と意見交換をする。また、題材となっている社会問題についても自分の意見をまとめて、他者と考えを述べ合う。
		10th	松尾スズキ「ファンキー！―宇宙は見える所までしかない」（戯曲）：可視化される差別	取り上げる作品を読み、作品の時代背景、作家の生まれ・育ち・作風の特徴などについて知識を得る。自分の意見をショートレポートをまとめる。
		11th	松尾スズキ「ファンキー！―宇宙は見える所までしかない」（戯曲）：可視化される差別	前週のショートレポートを参考に、他者と意見交換をする。また、題材となっている社会問題についても自分の意見をまとめて、他者と考えを述べ合う。
		12th	石原燃「白い花を隠す」（戯曲）：メディアの在り方を問う	取り上げる作品を読み、作品の時代背景、作家の生まれ・育ち・作風の特徴などについて知識を得る。自分の意見をショートレポートをまとめる。
		13th	石原燃「白い花を隠す」（戯曲）：メディアの在り方を問う	前週のショートレポートを参考に、他者と意見交換をする。また、題材となっている社会問題についても自分の意見をまとめて、他者と考えを述べ合う。
		14th	レポート執筆について(1)	レポートについて要点を得る。レポートの第一稿のプロットを作成する。
		15th	レポート執筆について(2)	各自が執筆した第一稿を相互に読み合い、批評し合う。
		16th		

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	0	20	20	20	40	0	100
基礎的能力	0	15	15	15	30	0	75
専門的能力	0	5	5	5	10	0	25
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0